

富士市立高等学校 学校運営協議会		第 3 1 回	会議要旨 (令和 5 年度)
開催日 令和 5 年 6 月 2 9 日 木曜日 開 会 1 4 時 0 0 分 閉 会 1 6 時 3 0 分		会議場 富士市立高等学校 2 階 会議室 オンライン併用	
出席者 【学校運営協議会委員】 石黒 明 井上美千子 加藤 寧 久米昭洋 小泉彩子 豊島実侑 橋本 仁 櫻井祥行 塩田真吾委員、畑 裕美委員は所用のため欠席 【市立高校教員】 上野朋子 見城喜哉 中里健 後藤大輝 佐野大悟 大森昭仁 高林祐樹 【市立高校職員】・【市教育総務課】 榎 俊英 渡邊貴広 滝 陽介 山田英雄		* 敬称略	
開会			
教育長挨拶			
・公私ともお忙しい中、富士市立高等学校の学校運営協議会の委員をお引き受けいただきまして心より御礼申し上げたい。 ・6 月には 3 年ぶりに来場制限のない南稜祭文化の部が開催され、大いに盛り上がったと伺っている。また、昨年の南稜祭の模擬店収入を火事のあった岳陽中学校に対して見舞金という形で多額の寄付をいただきありがたく思っている。 ・部活動では、小針陽葉さんが、東海大会で素晴らしい記録を出し、サッカー部出身の第 6 期生松澤海斗選手が、J2 リーグの V ファーレン長崎に春から入団するなど素晴らしいニュースが続いている。 ・富士市では令和 6 年度までに市内の全ての小中学校においてコミュニティスクールを指定することを目指しているが、その先駆者と平成 25 年度、富士市立高等学校に学校運営協議会が設置された。 ・4 月より富士市から一人一台パソコンを貸与しており、探究学習も昨年からソフトバンクの AI チャレンジを行うなど先駆けとなって成果を上げている。 ・より魅力的な富士市立高校になるため委員の皆様それぞれの立場から忌憚のない御意見をいただきたい。			
校長挨拶			
・コロナが 5 類になったことで、本校でもようやく日常が戻ってきた。先日の南稜祭文化の部では色々なところで楽しむことができた。 ・探究学習で何が変わったか、1 点目は人前で自分の意見を言えるというごく当たり前のことができ			

るようになってきたこと。今後は国公立に何人合格したとか世間ではそういう評価が多いが、そうではない指標を作って探究学習でこれだけの伸び方をするということを示したい。

- ・ 2点目は、今年の卒業生は54%が4年制大学に進学した。進学するために何が必要かということで探究学習を普通の授業の中でどう取り組むかが喫緊の課題となっている。
- ・ 3点目は、陸上部の小針さんを含めて、初めて400m女子リレーで全国大会に出場することができた。彼女1人に頼るわけにはいかないが、少しでもそういう形で全国に行く生徒が増えればありがたいことであり、いろんな分野で広まってもらえればと思っている。
- ・ 今日、この後授業を見ていただく中で、忌憚のない御意見をいただければと思う。

委員紹介

会長、副会長選任

- ・ 会長に久米委員を選出。副会長は会長の指名で櫻井委員を選出。

会長挨拶

- ・ 皆様と共に力を合わせて富士市立高校の発展にお役に立てれば、そんな協議会にしていきたい。
- ・ 学校運営協議会は、「置くことができる」という文言で書かれているが、これは一定期間のうちに設置しなさいという意味合いを含んでいる。その点、富士市立高校ではスタートが早く、実績を上げているということで評価されるべきと思う。
- ・ 「開かれた学校」というものが地域レベルでもキーワードになっており、学校と地域の皆さんが学校運営に意見を反映しながら協働する、ともに働いて生徒たちの成長を支えることが求められている。
- ・ 学校運営協議会は地域に密着した制度であり、富士市立高等学校は非常に地元に密着かつ富士市以外から通学する生徒もいる中で、そこを上手に捉えて素晴らしいマネジメントをされている。

授業参観 学校内を見学しながら、各授業を参観していただいた。

授業参観に関する質疑応答

(意見・質問等)	・ ICT 機器を非常に活用しており、先生方も努力して使い方を学んでいると感じた。
(意見・質問等)	・ 設備が素晴らしく、恵まれた教育環境で学ぶことでより探究的な学びが進んでいくのでは。
(意見・質問等)	・ 課題研究の授業では、生徒が自由な発想力を育むような、そんな授業の仕掛けになっているのではないか。
(意見・質問等)	・ 高校は先生が前に立って生徒がずっと前を向きながらノートを写す印象があったが、グループで話をしていたり、教え合っていたりする姿を見て、高校も随分変わってきたなと思った。
(意見・質問等)	・ 施設面では、富士市の中学生リーダー研修会があるが、PIR ルームを使用できればもっと色々なことができるのでは。
(意見・質問等)	・ 中学生の中には探究が難しいと思っている生徒もいるので、授業でやられているような内容を、中学生の体験の場でも行ってもらえれば、探究が面白いということにもつ

(意見・質問等)	ながら。 ・配布されて2, 3か月しかたっていないタブレットを使いこなしているのに驚いた。スライド資料作成ソフトも使いこなせており、自分たちのころと比較し、羨ましく思う。
(意見・質問等)	・高校の授業でプールがあるとは思わなかった。体力作りも兼ねて良いと思う。
(意見・質問等)	・どのような設備があるかある程度わかっていたが、実際にフル活用しているのが良いと思った。
(意見・質問等)	・やる気のある生徒が多いと思ったが、寝ている生徒がゼロではなかった。せめて参観者が来たら起きているのが普通であるといい。
(意見・質問等)	・非常に生徒の皆さんがきちんとしている印象。先生方の指導の賜物かと思う。
(意見・質問等)	・ICTを使用した授業が自然とできている。どの授業を見ても先生方が似たような使い方をしており、ICT利用に関する学びや力量が備わっていると感じた。
(回答)	・施設が良いという中で、PIR ルームについては、開設当初は使われていなかったのが、探究学習にマッチしているという認識や効果が教員にもわかってきたように思う。今年からは2教室増やしている。

学校からの報告

◇探究学習に関する報告

- ・学校の教育活動全体で、探究を実践することを掲げており、総合的な探究の時間で、「究タイム」、各学科での海外探究研修や集中研修、授業での探究学習を行っている。
- ・ジェネリックスキルを測定する河合塾の「学びみらい PASS」を導入している。本校の生徒はコンピテンシーが高い傾向にあり、キャリア意識を深めることでジェネリックスキルをより高めることができる。
- ・教育目標「自律する若者」を実践するために、地域協働、探究学習、キャリア教育という3つのスクールミッションがあり、達成のために付けさせたい力として、6つの力を定めている。入学時と卒業時に、それぞれの力についてアンケートを取っているが、どの項目も、入学時より伸びており、一定の成果を上げている。

◇部活動報告

- ・陸上部のスポーツ探究科の小針さんが東海大会で、女子100m、200m、走り幅跳びで優勝している。東海大会では女子400mリレーでも4位に入賞している。
- ・チアリーダー部が東海大会で2位の成績。県大会に関しては、サッカー部がベスト16、弓道部女子、山本さん（総合探究科3年生）が決勝進出。柔道部はスポーツ探究科3年生の日向さんがベスト16、男子団体もベスト16の成績を収めた。
- ・野球部が春季高校野球大会ベスト16で夏の大会に臨む。

◇令和5年度進路状況報告

- ・令和4年度卒業の10期生の進路について、特筆すべきは初めて四年制大学の進学率が50%を超えた。中でも国公立に関しても11名と2桁の数字を出している。

・要因として、究タイム等、探究活動を上手く使いながら総合型、学校型選抜で進学しつつ、一般入試でも合格する生徒が多かったことが挙げられる。	
学校からの報告に対する質疑応答	
(意見・質問等)	・進路について、実績が上がっているのは素晴らしいことだと思うが、工夫されてきたことや、力を入れてきたころはあるか？
(回答)	・10期生が入学したころはコロナ禍だったので、オンラインで卒業生からアドバイスをもらう取り組みをした。教員よりも卒業生のアドバイスが響くので、縦のつながりを上手く使っていきたい。
(回答)	・進学実績についても、高校3年間で学びが完結するのではなく、高校で基礎を学び、探究学習を通じて「大学でこういったことを学びたい」という意識をもって進学してもらいたいと思う。大学や専門学校で活躍してくれる生徒が増えてきていると実感しており、高校3年間で頑張った生徒が後輩に向けて色々アドバイスしたのが、良い結果に繋がったのではないかな。
(意見・質問等)	・富士市立の卒業生は、全国海外含めて色々なところで活躍していると聞いており、素晴らしいと思う。
(意見・質問等)	・他校の生徒の様子を見ると、教科学習と部活動で精一杯で探究までは負担感があるというか、両立に苦労している生徒が多い印象だが、どのように両立しているのか。勉強、部活動、探究学習について生徒の中ではどんな位置付けか教えてほしい。
(回答)	・先ほど説明した「究タイム」の時間は生徒も探究していると感じている。部活動や勉強ではおそらく意識はしていないと思う。例えば、部活動であれば、どうやったら練習してうまくなるのかなど探究活動の一環と言える。単語を覚えるにしても BEN 部という自習できる場所があり、そこで自主的に先生に聞いたり、生徒同士と一緒に勉強したり、探究を意識しているかどうかは別として、自然と探究している姿が見られる。生徒自身が上手くバランスを取ってくれている。先生方が普段の授業でもグループワークなどを取り入れており、特に違和感なく探究に取り組んでいるのでは。
(意見・質問等)	・総合的な探究の時間だけが探究ではなく、教科学習含めて学校全体で上手くいっているということを改めて感じた。
(回答)	・カリキュラムの中に、人文探究や社会探究など教科としても探究の取り組みをしている。ただ特別それだけがという感じではなく、先生方が探究の思考で普段の授業も行っている。それが学校全体、教員、生徒も含めそのような形で取り組むことができています。
(意見・質問等)	・県立高校から異動されてくる先生について、探究の研修等は行っているか？
(回答)	・毎年、企画研究課で移動されてきた先生方に研修を行っている。最初は戸惑っているが、大多数の先生方が探究の授業をやっており、適応してくれるというか変えていただけたと思う。
	・学びみらい PASS のリテラシーとコンピテンシーの調査は1年次だけか？3年次では

(意見・質問等)	ないのか？
(回答)	・1年次と3年次（正確には2年の後半）に行っている。今年の卒業生から1年次と3年次の比較が出たが、リテラシー、コンピテンシー共に伸びている。
(意見・質問等)	・同学年で1年次と2年次、3年次の比較を今後、見せてもらえたらと思う。
(意見・質問等)	・学びみらいPASSの調査項目は？
(回答)	・評価の内容は多岐に渡る。リテラシーは主に学力的な調査、コンピテンシーは社会人としての価値観に基づく調査。それぞれ質問項目があり、リテラシーは7段階、コンピテンシーは5段階で評価。
「令和5年度学校経営計画」の説明	
・教育目標として「自律する若者」の育成。自律とは、自ら考えて自ら動ける生徒であり、実現するために、コミュニティ・ハイスクール、ドリカム・ハイスクール、探究ハイスクールのスクールポリシーを置く。 ・教育目標の具現化の柱として「ア～オ」の5つにまとめた。 ・一番大切なことは学校に来ること。基本的生活習慣を身に付けて、安全安心な学校作りを行うことが基本だと考えている。どの学校も不登校が多く、生徒だけでなく、教員も教育がストレスにならないようにしたい。このような内容を「ア」としてまとめた。 ・「イ」は、キャリア教育について、「ウ」については探究の魅力ある授業の実現。 ・「エ」は、本校がいかに開かれた学校であるか、地域交流課もあり、市民に少しでも利用してもらおうと様々な工夫を用意している。 ・「オ」は、一人一台パソコンの導入に伴い、紙媒体から電子媒体へと移行し、紙の使用量の減少を見込んでいる。	
「令和5年度学校経営計画」に対する質疑応答	
(意見・質問等)	・学校に来るのが基本というのは、中学校も同様で、高校もそのように考えてやっていただけているのはありがたい。今後もそれをお願いしたい。
(意見・質問等)	・地域交流についても色々やってくれているのが伝わる。今後、中学校の部活も衰退の可能性があるので、高校生が中学生を指導してくれるとありがたい。
(回答)	・去年の12月から小学生対象に学校で部活体験というものをやっている。ちょうど対象に中学生を加えたらどうかという話があったので検討していきたい。
(回答)	・吹奏楽部が今年度の8月末から中学生も小学生も一緒に合同練習をやったり、バレー部も吉原東中と一緒に練習をやったり中学生との交流を行っている。
(意見・質問等)	・学校で困ったことや悩み事を相談できる人がいる生徒が85%という目標について、昨年の令和4年度の報告を見ると、目標を超えており、本当に学校の先生方含めて生徒を見てくださっているということが伝わった。
(意見・質問等)	・質問として相談体制はどのような形になっているのか？先生方が長時間労働をされているのかなと感じたのでそのあたりの補足もいただきたい。
(回答)	・相談体制として、スクールカウンセラーが週2回学校に来ている。週に1回、教頭、

(回答) (意見・質問等) (回答) (意見・質問等) (回答) (承認)	生徒課長、学年主任等で生徒のことについて情報共有を行っている。保健室も2人体制で行っており、生徒の相談に乗ってもらっている。 ・長時間労働に関しても、ここは業務を見直したいと、大切なところかと感じている。 ・資格取得の奨励について、漢字検定は対象としないのか？ ・漢字検定については自主的な取り組みという形で、生徒自身が書店等を通して受験をする形を取っている。 ・今年度から導入されたCラーニングについての活用状況を教えてほしい。 ・Cラーニングは、生徒、保護者、教員に対して情報を発信するアプリ。これまでに、毎日の健康観察、欠席連絡通知、アンケートの配信などに利用している。 ・まだまだ御意見もあるかと思うが、そろそろ時間なので、皆様から令和5年度の学校経営計画及び教育方針についてご追認の了承をいただきたいが、いかがか。 ・・・異議なしとの声あり・・・ ・それでは、皆様からご承認を得られたものと判断させていただきたい。 学校には、本日委員から出された意見を精査し、令和6年度教育方針の原案作成の参考としていただきたい。
学校からの報告 ◇学校評価アンケートについて ・5年度も学校評価アンケートを実施する予定。資料にある黒字の部分が新しいものになっている。 保護者の意見等も反映して、案を作らせていただいた。	
次回日程について	
閉会	